

スマイルなんぶ通信 No.57

😊スマイルなんぶ😊
～健康・長寿、日本一を目指して～

「なんぶ健康会議」に関わる課・組織が情報をお伝えします。
今回の担当は、地域包括支援センターです。

お口の健康は、健康寿命をのばすカギ!!

私たちの口は、「食べる」「話す」「唾液を出す」「味わう」「表情を作る」など、生きていくために欠かせないさまざまな役割を担っています。これらの働きを**口腔機能**といいます。体力や臓器などの働きと同様に口腔機能も年齢とともに徐々に衰えていきますが、「歳だから仕方ない」と放置しておく、生活の質の低下につながるだけでなく、**歯周病**や**誤嚥性肺炎**などの深刻な病気に発展してしまう恐れがあります。

口腔機能を健全に保つケア

パタカラ体操

- 「パ」 しっかり噛んで食べるための唇の動き
- 「タ」 食べ物を飲み込むときの舌先の動き
- 「カ」 食べ物を食道に送るときの下の方の働き
- 「ラ」 食事をするときに必要な舌の筋肉全体を鍛える働き



早く、はっきりとした大きな声で、「パパパ、タタタ、カカカ、ラララ」「パタカラ、パタカラ、パタカラ、・・・」と続けて、各5回ずつを目安に発音してみましょう

唾液腺マッサージ

- 耳下腺マッサージ** 両ほほに親指以外の4本を添えて、奥歯周辺をぐるぐる回転させてもみます
- 顎下腺マッサージ** 耳の下から顎にかけて指を下からやわらかく押し上げます
- 舌下腺マッサージ** 親指の腹を使い、顎の下側を軽く押すようにマッサージします

自分に合った道具で口腔内を清潔に、会話やカラオケで口を鍛えましょう！

平成30年度 決算

町議会9月定例会
で認定されました
「平成30年度決算」
の概要をお知らせし
ます。

一般会計

歳入

歳入 59億7,341万円

(前年度比

1億7,207万8千円減)

■歳入の特徴

① 町税は、個人住民税が人口減少及び高齢化率の上昇により減り、中部横断自動車道の完成に伴い中部横断自動車道建設事業者の撤退も拍車をかけ、町民税全体では2,012万9千円の減となりました。

② 地方債は、交流促進施設整備事業などが終了したため、過疎債・合併特例債を前年度から5億4,330万円減額しました。

歳入のおよそ半分は、地方交付税で賄われていますが、平成29年度会計において合併特例債が終ったこと、公債費の償還が減少したこと、高

歳出

歳出 55億0,788万6千円

(前年度比

1億3,042万9千円減)

■歳出の特徴

① 平成29年度に完成した交流促進施設整備事業による経費として6億6,331万6千円が減額となりました。

② 企業誘致として売却した町有地土地代金を地域活性化基金に4億1,400万円、保育所統合事業や学校適正配置事業(小学校統合等)などをはじめ、老朽化した公共施設の整備費用に充てるための公共施設整備基金に2億0,023万2千円を積み立てました。

③ 建設費用として借り入れた合併特例債・過疎債の償還が終了したため、公債費残高が前年度から4億5,656万9千円減少しました。

町では、引き続きより効率的な財政運営を心がけ、将来負担を考慮しつつ財源の確保に努めています。

齢者一人当たりの単位費用が減少したため、普通交付税は前年度に比べ4,560万6千円減少しています。

●一般会計の決算状況

単位：千円

歳入	歳出	差引
5,973,410	5,507,886	465,524
翌年度への繰越財源		26,163
実質収支		439,361

●平成30年度の主な施策

単位：千円

区分	事業費
公衆無線LAN環境整備事業	34,690
栄保育所増築改修事業	51,921
合併浄化槽設置整備補助事業	19,682
道路新設改良事業	62,350
橋梁改良事業	50,814
橋梁維持管理事業	11,805
県営中山間地域総合整備事業(負担金)	51,000
地方創生推進交付金(竹林整備)	11,000
富河小学校改修事業	10,260

●特別会計の決算状況

単位：千円

区分	歳入	歳出	翌年度への繰越財源	実質収支
簡易水道事業	418,091	400,535		17,556
指定居宅サービス	82,100	78,137		3,963
国民健康保険	1,088,860	1,046,466		42,394
直営南部診療	108,655	90,591		18,064
直営万沢診療	65,179	54,184		10,995
介護保険	1,176,073	1,104,645		71,428
後期高齢者医療	236,542	234,026		2,516
睦合財産区	325	279		46
富沢財産区	1,336	1,117		219
大城平外二山財産区	306	111		195
大日向外三山財産区	157	124		33

特別会計

町には、一般会計のほか9つの特別会計があります。これらを全て合わせると、歳入総額は31億7,763万円、歳出総額は30億1,021万7千円となります。

決算は次のとおりです。

●健全化判断比率

単位：％

区分	南部町比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	3.4	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字が生じていないため、また、将来負担比率は、将来負担額がないため「—」で表記

●資金不足比率

単位：％

特別会計名	南部町比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率は、資金不足が生じていないため「—」で表記

実質赤字比率 …… 町の収入に対する一般会計などの赤字割合
 連結実質赤字比率 …… 町の収入に対する全会計の赤字割合
 実質公債費比率 …… 町の収入に対する借金返済額の割合
 将来負担比率 …… 町の収入に対する将来的に負担が見込まれる負債の割合

南部町の財政の健全性を示す5つの指標

「地方自治体の財政の健全化に関する法律」の規定により、平成30年度決算に基づく4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。

平成30年度は、いずれの指標も財政上のイエローカードを表す「早期健全化基準」を下回り、健全性が保たれていることを示しています。

令和元年度 [南部町防災講演会]開催

演題:「減災から防災社会の構築へ」
～想像力の欠如に陥らない防災を～



岩田孝仁氏 (いわた たかよし)

大阪府出身

1955年生まれ。79年に静岡県庁入庁。防災対策に従事。東日本大震災では、県の第1次支援隊長として岩手県に入った。県危機管理監などを経て、2015年静岡大学防災総合センター教授となる。17年から防災総合センター長。

最近強力化している風水害、巨大地震に対して町民1人1人がどのように対応し、どのように地域の防災力を高めていけばよいのでしょうか。静岡県庁の職員として防災関係の職に従事し、豊富な経験を持ち静岡大学防災総合センター教授となり、行政システム・地域コミュニティでの防災について、地域社会の課題や問題点解決への道筋を探し、災害犠牲者を出さない「防災社会」の構築を目指している静岡大学教授・防災総合センター長岩田孝仁氏による講演会を開催いたします。

日 時: **11月19日(火) 午後7:00～午後9:00**

場 所: 南部町文化ホール

講 師: 岩 田 ^{たか} 孝 ^{よし} 仁 氏

主 催: 南 部 町

※入場料は無料です。

※駐車場に限りがありますので、乗り合わせの上ご来場ください。

お問合せ 南部町役場交通防災課 ☎ 0556-66-3417